

# E N E O S 海外渡航支援事業報告書（学会渡航）

2025 年 9 月 5 日

工学部・工学研究科修士課程（どちらか〇で囲む）

所属学科・専攻・回生 電気工学 学科・専攻 2 回生

氏 名 福 嶋 大 賀

1. 参加期間 2025 年 8 月 7 日 から 2025 年 8 月 8 日

2. 会場（開催国・場所・機関等）

the Auditorium of the Paul Scherrer Institut (PSI) in Villigen, Switzerland

3. 発表成果（概要）

「Scalar-Mode OPMs with Spin-Echo Technique」という題目でポスター発表を行った。

本研究ではスカラ型 OPM と呼ばれるシールドレスな磁気計測が可能である高感度磁気センサ  
に対してスピネコーシーケンスを導入した計測手法の提案を行った。具体的には、実験と  
シミュレーションによる数値検討を行い、その結果と考察に関する報告を行った。実験的に  
スピネコー信号の観測にも成功しデータ長の延伸を確認でき、シミュレーションでも  
スピネコー信号を再現することができ、シールドレスな磁場計測に向けた本手法の有効性を  
示すことが出来た。学会では様々な動作モードの OPM の発表を聞くことができ、自分の研究の  
国際的な立ち位置を知ることが出来た。自分の研究についても様々なフィードバックをいただく  
ことが出来た上に、他の発表への質疑も積極的に行うことが出来て、初めて国際会議に参加した  
ときよりも自分の英語力が向上していることを実感できた。

4. 奨学金の使途

学会参加費、空港から自宅間と現地での空港から宿泊地への交通費、日当、

宿泊費の一部